80SP-0101-3

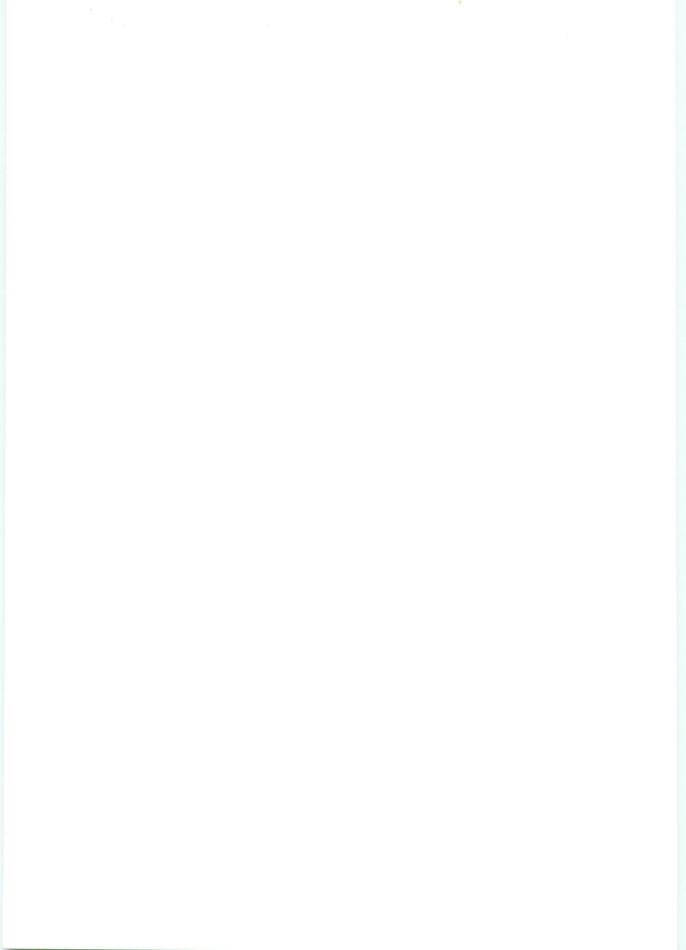
日本語MS-DOSⓇ

日本語 MS-DOSⓇ V5.0 セットアップガイド

FM Rシリーズ，FM NoteBook，FM TOWNS

FMRシリーズ, FM NoteBook, FM TOWNS

日本語MS-DOS® V5.0
セットアップガイド

富士通株式会社

ごあいさつ

このたびは、弊社の「日本語MS-DOS®V5.0（基本機能）」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は、「日本語MS-DOS®V5.0」をパーソナルコンピュータにインストールする方法について説明しています。
なお、本書では、「日本語MS-DOS®V5.0」をMS-DOSと記述しています。
本書がみなさまのお役に立つことを願っています。

本マニュアルには、“外国為替及び外国貿易管理法”に基づく特定技術が含まれています。したがって、本マニュアルまたはその一部を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要とされます。
富士通株式会社

1992年11月

マニュアルの読みかた

日本語MS-DOS®V5.0セットアップガイド（本書）は、日本語MS-DOS®V5.0（以下、特に指定する場合がないときはMS-DOSと略します）をハードディスクにインストールする手順を説明したものです。本書を含めてMS-DOSには、下記のマニュアルがあります。目的や利用経験に合わせてお読みください。

MS-DOSのマニュアルと本書の位置づけ

■「日本語MS-DOS®V5.0（基本機能）」に添付のマニュアル

日本語MS-DOS®V5.0セットアップガイド

MS-DOSをハードディスクにインストールする手順を説明しているマニュアルです。MS-DOSのインストールディスク中に用意されているコマンド「SETUP」を使ってインストールする時にお読みください。

日本語MS-DOS®V5.0ファーストステップガイド

MS-DOSシェルを操作される方は、このマニュアルで操作を覚えてください。実際にMS-DOSシェル（コマンドを入力せずに、マウスやキーボードで操作を行います）を使って、MS-DOSの基本的な操作を説明しています。

日本語MS-DOS®V5.0ユーザーズガイド

MS-DOSの入門書です。MS-DOSを使う上で知っておいていただきたいファイルやディレクトリなどの基礎知識、MS-DOSの便利な機能や、MS-DOSシェルについて説明しています。MS-DOSを初めて使う方は、このマニュアルをお読みください。

日本語MS-DOS®V5.0ユーザーズリファレンス

MS-DOSのコマンドやユーティリティの機能と使いかたをリファレンス形式で解説しているマニュアルです。CONFIG.SYS内に指定するデバイスドライバ、プログラミングユーティリティ、テキストファイルを編集できるエディタについても説明しています。

OAK操作ガイド（日本語入力の手引き）

MS-DOSでOAK(OASYSかな漢字変換機能)を使っているときのキーボードの使いかたを説明しています。英字・ひらがな・カタカナ・漢字・記号などの入力方法、OAKの環境設定を行うときにお読みください。

■「日本語MS-DOS®V5.0（拡張機能）」に添付のマニュアル

日本語MS-DOS®V5.0アドバンストガイド

MS-DOSについて既に知識のある方が、ご自分で使っているMS-DOSの設定を自分にあったものにしたいときに読んでいただきたいマニュアルです。MS-DOSの構造やシステムのカスタマイズ、MS-DOSの過去からのバージョンについて説明しています。

日本語MS-DOS®V5.0プログラム開発ツールリファレンス

プログラムを作成される方のために、リンカやシンボリックデバッガなどの開発ツールの使いかたについて説明しています。

日本語MS-DOS®V5.0プログラマーズリファレンス

プログラムを作成される方のために、システムコールの使用方法などの技術的な情報を提供しています。

NBメニュー／NBツール操作ガイド

よく使うMS-DOSのコマンドをメニュー形式で実行できるNBメニューと、システム手帳のように使えるNBツールの操作方法について説明しています。

考

ソフトウェア説明書について

ソフトウェア説明書は、マニュアル以外の留意事項や参考となる情報が記載されています。システムディスクに「README.DOC」というファイル名で提供しています。

MS-DOSを起動してプロンプトが表示されている状態で、次のように入力してください。

・ディスプレイに表示する場合

MORE < README.DOC ↵

・プリンタに出力する場合

PRINT README.DOC ↵

本書の読みかた

本書『日本語MS-DOS®V5.0セットアップガイド』はMS-DOSをハードディスクにインストールする方法を説明しています。

タイトル	内容・読みかた
1章 インストールの概要	インストールについての基本的なことについて説明しています。そのあと、MS-DOSをどのようにしてインストールするかを解説しています。
2章 MS-DOSをインストールしよう	すでにお使いのハードディスクに、SETUPコマンドでMS-DOSをインストールする方法を説明しています。 画面に表示されている指示にあわせてお読みください。
3章 区画を作成する	MS-DOSのSETUP2コマンドを使って、ハードディスクの区画を設定する方法を説明しています。 ハードディスクを初めてお使いになる方、新しく区画を設定してお使いになりたい方は、まずこの章をお読みください。次に2章をお読みになり、MS-DOSをインストールしてください。

本文中の表記について

本文中に特定のマークを使用しています。
それらの意味を以下に示します。

……知っていると便利なことが書いてあります。

……注意していただきたいことが書いてあります。

……操作がうまくいかなかったときに参考になることが書いてあります。

➔ ……参照先を示します。

CONTENTS

インストールの概要

１章では、インストールとはどういうものか、MS-DOSのインストール方法と手順について説明しています。

1-1 インストールとは

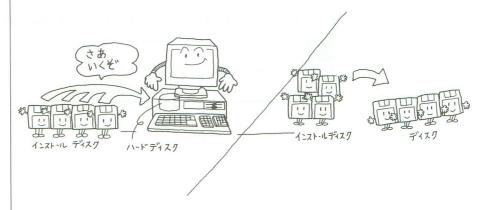
ご購入になった日本語MS-DOS®V5.0（以下、MS-DOSと略します）のフロッピィディスクは、そのままの状態では使うことができません。使える状態にするためには“インストール”という作業が必要です。このインストールという作業を行うことによって、はじめてMS-DOSが使えるようになります。
インストールでは、次のような操作を行っています。

・ファイルのコンバート
　MS-DOSのフロッピィディスク内のファイルを使えるように変換します。
・ファイルの転送
　変換して使えるようにしたファイルを、指定したドライブ（フロッピィディスクやハードディスク）にコピーします。
・各種設定
　ご使用のコンピュータにあわせて、各種の設定を行います。

1-2 2つのインストール方法とインストールの手順

2つのインストール方法

MS-DOSのインストール方法は2つあります。1つは、ハードディスクにインストールする方法と、もう1つは、フロッピィディスクにインストールする方法です。
いったんハードディスクにMS-DOSをインストールすると、MS-DOSを使うときの面倒なフロッピィディスクの差し替えがないばかりか、フロッピィディスクに比べて高速に読み書きをすることができます。
MS-DOSを有効に活用していただくために、ハードディスクへのインストールをお薦めいたします。
なお、本書では、内蔵のハードディスクにインストールする方法を紹介しています。
詳しくは、2章を参照してください。

1ドライブタイプの機種をお使いの方は、フロッピィディスクにMS-DOSをインストールすることはできません。

インストール手順

前に説明した２つのインストール方法はそれぞれインストール手順が異なります。
ここでは、この２つのインストール方法の手順を説明します。

ハードディスクにインストールする場合

インストール開始

● 「SETUP」を起動する

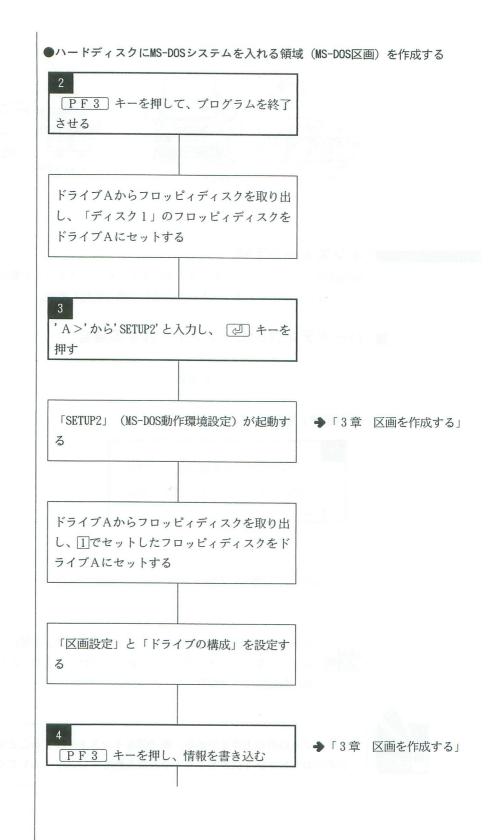
1
フロッピィディスクを本体のドライブＡ（ドライブ0）に入れて、コンピュータの電源を入れる

「SETUP」が自動的に起動する

考

ドライブＡに入れるフロッピィディスクの順番は、お使いになっている機種によって異なります。詳しいことについては、「２章　2-1　インストール前の確認事項」を参照してください。

ドライブＡ以外のドライブから、MS-DOSをインストールすることはできません。必ずフロッピィディスクをドライブＡに入れてインストールしてください。

●ハードディスクにMS-DOSシステムを入れる領域（MS-DOS区画）を作成する

情報を書き込むと、システムが再起動し、再び「SETUP」が自動的に起動する

・すでに「日本語MS-DOS®V3.1」で使用していたMS-DOS区画を削除し、その区画にMS-DOSをインストールする場合には、2～4の操作は不要です。
・MS-DOSをインストールする区画の容量は５MB以上必要です。
・SETUP2コマンドは、「ディスク１」に入っています。

使用していた区画を削除し、MS-DOSをインストールすると、区画の中にあった内容は消えてしまいます。消してもよい内容かどうかを確認して、インストールしてください。

●MS-DOSをハードディスクにインストールする

5
「SETUP」の画面に従って、MS-DOSをハードディスクにインストールする

➔「２章　MS-DOSをインストールしよう」

インストール終了

■ フロッピィディスクにインストールする場合

インストール開始

2HDのフロッピィディスクを４枚用意する

MS-DOSのシステムをインストールすると、2HDのフロッピィディスクの元の内容は消えてしまいます。

● 「SETUP」を起動する

1
フロッピィディスクを本体のドライブA（ﾄﾞﾗｲﾌﾞ0）に入れてコンピュータの電源を入れる

「SETUP」が自動的に起動する

参考　ドライブAに入れるフロッピィディスクの順番は、お使いになっている機種によって異なります。詳しくは、「２章　2-1 インストール前の確認事項」を参照してください。

ドライブA以外のドライブからのインストールはできません。必ずフロッピィディスクをドライブAに入れてインストールしてください。

●フロッピィディスクにMS-DOSシステムをインストールする

2
SETUPの画面に従って、MS-DOSをフロッピィディスクにインストールする

➔「２章　MS-DOSをインストールしよう」

インストール終了

1-3 インストールに必要なもの

MS-DOSをインストールするには、ご購入になったMS-DOSのフロッピィディスクと、使用しているコンピュータに以下の環境が必要です。インストールを始める前に用意しておいてください。

・ハードディスクにインストールする場合：区画容量５MB以上
・フロッピィディスクにインストールする場合：2HDのフロッピィディスク４枚

MS-DOSを インストールしよう

２章では、実際にMS-DOSをハードディスクにインストールする手順を説明しています。

2-1 インストール前の確認事項

ここでは実際にインストールを始める前に、確認して頂きたいことについて説明します。

・ハードディスクにインストールする場合は、インストールする前に、ハードディスクの区画を作成する操作が必要になります。操作方法は３章をご覧ください。

・インストールの際に使用する４枚のMS-DOSのフロッピィディスクは、お使いになっているコンピュータの機種によって使う順番が異なります。
まず、ご自分でお使いになっているコンピュータの機種名を確認し、最初に使うフロッピィディスクを用意してください。

フロッピィディスク１ ——— FM TOWNS系をお使いの方はこのフロッピィディスクを最初にドライブＡに入れてください。
フロッピィディスク２ ——— FM R-80／70／60／50、FMNoteBookをお使いの方はこのフロッピィディスクを最初にドライブＡに入れてください。
フロッピィディスク３ ——— FM R-70Σ／50Λをお使いの方はこのフロッピィディスクを最初にドライブＡに入れてください。

・FMNoteBookをお使いの場合は、インストール作業を行うことにより、RAMディスクの内容が消えてしまいます。
必要であれば、インストール前に、RAMディスクの内容をバックアップしてください。

インストールを始める前に、何をどこへ、どのようにインストールするかを設定する必要があります。この設定は、MS-DOSのフロッピィディスクの中にあるSETUPコマンドで行います。これをセットアップといいます。
では、セットアップを始めましょう。

2-2 「SETUP」でインストールする

セットアップ画面を起動する

まず、SETUPコマンドの画面を表示させましょう。

1 MS-DOSのフロッピィディスクをセットする

お使いになっている機種にあった起動ディスクを、ドライブAにセットして、コンピュータの電源を入れてください。

2 コマンドを実行する

SETUPコマンドが自動的に起動され、次のSETUPコマンドの起動画面が表示されます。

```
日本語 MS-DOS(R) V5.0

    SETUP にようこそ.

    SETUP は，あなたのシステム上で日本語MS-DOS V5.0 を動かすため
    の準備をします. 各画面には，組み込みの各ステップを進めていく
    ための基本的な説明があります. 追加情報及び画面やオプションの
    説明を見たいときは，PF1キー(ヘルプキーとして割り当てられてい
    ます) を押してください.

    改行キーを押して，SETUP を続けてください.

改行=続行  PF1=ヘルプ  PF3=終了
```

画面の指示に従って操作を進めていきます。

コンピュータの電源を入れたときに、すでにお使いになっているハードディスクから別のシステム（日本語MS-DOS®V3.1など）が起動することがあります。
この場合、「REIPLコマンド（日本語MS-DOS®V3.1の場合）」を使って、フロッピィディスクドライブAより再起動してください。

設定を確定するときと、次のページに移るときは [⏎] キーを押します。
ヘルプを見たいときは [ＰＦ１] キーを押します。
終了するときは [ＰＦ３] キーを押します。

日付／時刻の変更、組み込み先（インストール先）と処理の選択

ここでは日付／時刻と、MS-DOSの組み込み先、処理（新規または更新）を変更する方法について説明します。
なお、この操作は、表示されている既定値を変更する場合のみ行います。
日付／時刻、組み込み先および処理の設定内容については「項目・オプション一覧表（P.15）」を参照してください。

1 カーソルをあわせる

[↑] キーを押し、カーソルを変更したい項目にあわせます。

```
日本語 ＭＳ－ＤＯＳ(R) Ｖ５．０

SETUP は，日本語MS-DOS V5.0 について以下のような既定値に
しています．

以下の項目がよければ，改行キーを押してください．
項目を変更したい場合は，矢印キーを使って選択してください．
そこで実行キーを押せば別の項目を選択できます．

    日付/時刻：92/11/29  11:18
    組み込み先：ハードディスク
    処　　　理：新　規
    上記の設定でよい．

改行=続行  PF1=ヘルプ  PF3=終了
```

2 [↵] **キーを押す**

[↵] キーを押すと、各項目を設定する画面が表示されます。

3 **項目を変更する**

日付／時刻を変更する場合は、変更したい数字を入力します。

組み込み先をフロッピィディスクへ変更する場合は、[↑] キーを押してカーソルを「フロッピィディスク」にあわせます。

インストールを終了したあと、設定した内容を変えたい場合は、処理を「更新」にします。

4 [↵] **キーを押す**

[↵] キーを押すと、設定が変更され元の画面が表示されます。

5 **再び、[↵] キーを押す**

カーソルを「上記の設定でよい．」にあわせて、[↵] キーを押します。

これで、日付／時刻、組み込み先、処理の設定ができました。

オプションの選択

組み込み先や、日付／時刻の設定が終わると、今度は各種のオプションを設定する画面になります。ここで、設定できるオプションには、次のようなものがあります。

・組み込み先（ドライブ名）
・起動時のシェルの起動
・OAKの組み込み
・ALTキーの代行
・キーのリピート
・メンテナンスユーティリティの組み込み
・解像度
・EMSデバイスドライバ

なお、各オプションのくわしい設定内容については、「項目・オプション一覧表（P.15）」を参照してください。

「解像度」「EMSデバイスドライバ」の設定は、インストールする機種や環境によって設定できない場合があります。

1 **各オプションを変更する**

設定を変更したいオプションを選択し、変更します。

2 ［↵］キーを押す

オプションの設定を確認します。設定内容が良ければ、カーソルを「このオプションでよい．」にあわせて、［↵］キーを押します。

これで、組み込み先とオプションの設定ができました。

日本語 MS-DOS(R) V5.0

SETUP は次のオプションを選択しました．

以下のオプションでよければ，'このオプションでよい'を選択し，
改行キーを押してください．
オプションを変更したい場合は，矢印キーを使って選択してください．そこで改行キーを押せば別のオプションを選択できます．

組み込み先	:C:¥DOS
起動時のシェルの起動	:はい
OAK の組み込み	:はい
ALT キーの代行	:いいえ
キーのリピート	:文字キーのみリピートする
メンテナンスユーティリティの組み込み	
解像度	:高解像度
EMS デバイスドライバ	:EMM386.EXE

このオプションでよい．

改行=続行　PF1=ヘルプ　PF3=終了　ESC=前画面

「ALTキーの代行キー」を「あり」にした場合には、［ＰＦ20］キーは使用できません。［ＰＦ20］キーは完全に［ＡＬＴ］キーと見なされます。

項目・オプション一覧表

SETUPにある、各項目・オプションの設定内容を説明します。

	メッセージ	設定内容
項目	日付／時刻	現在の日時を設定します。コンピュータ本体内にセットされている日時が表示されますので、正しくない場合には、必ず設定してください。
	組み込み先	MS-DOSのシステムをハードディスクにインストールするか、フロッピィディスクにインストールするかを指定します。
	処理	MS-DOSを新規にインストールするか、更新するかを指定します。「新規」を指定すると組み込み先ハードディスク内のファイルはすべて消去されます。なお、この項目はフロッピィディスクにインストールする場合には表示されません。
オプション	組み込み先	［ハードディスクの場合］ MS-DOSのプログラムを、どのドライブのどのディレクトリに組み込むかを指定します。 Ｃ：￥ＤＯＳ ①②③④ ①　「３章　区画を作成する」で設定した、MS-DOS区画に対するドライブ名を指定します。 ②　“：”（コロン）の文字を指定します。 ③　“￥”（円記号）の文字を指定します。 ④　半角11文字までの名前が指定できます。 ［フロッピィディスクの場合］ フロッピィディスクドライブのドライブ名（Ｂ～Ｐ）を指定します。
	起動時のシェルの起動（ハードディスクへ組み込む場合のみ）	コンピュータの電源を入れて、MS-DOSを起動した時に、MS-DOSシェルと呼ばれるメニューを自動的に起動するかを指定します。

	メッセージ	設　定　内　容
オプション	OAKの組み込み	キーボードより日本語を入力するためのプログラム（OAK:OASYSかな漢字変換機能）を組み込むかを指定します。 組み込む場合には、組み込みに関する設定画面が表示されます。
	入力モード	日本語の入力方法を指定します。 かな入力を指定すると、キーボード上のかな文字の刻印に応じた入力が行えます。 ローマ字かな入力を指定すると、英字キーを組み合わせて入力します（例えば、“ひ”を入力する場合には“ＨＩ”と押す）。
	辞書ドライブ	かなを日本語に変換するための辞書ファイル（OASYS.DIC）を格納するドライブ名を指定します。 通常は、組み込み先で指定したドライブ名と同じドライブ名を指定します。 なお、FMNoteBooK系では、表示されません。
	辞書の更新	辞書ファイルを新しく書き込むかを指定します。 以前にOAKをお使いの場合で、その辞書を残したい場合には、辞書の更新をしないでください。 また、FMNoteBooK系では、辞書RAM領域を初期化するかを指定します。更新する場合には、登録単語や辞書の学習状態が初期化されます。はじめてMS-DOSシステムをインストールする場合や、辞書RAM領域が破壊されている場合には、強制的に辞書の更新が行われます。
	ALTキーの代行	お持ちのキーボードに ＡＬＴ キーが付いていない場合には“する”を指定してください。 ＰＦ20 キーが ＡＬＴ キーの役目を果たします。

	メッセージ	設定内容
オプション	キーのリピート	キーを一定時間押し続けた時に、そのキーに対応する文字（記号）が連続して表示されることをキーのリピートと言います。ここでは、キーのリピートに関して、3つの項目について設定します。
	開始時間	キーをどのくらい押し続けると、キーのリピートが始まるかを指定します。
	間隔時間	キーのリピート中に、文字（記号）が表示される間隔を指定します。
	リピートキー	どのキーに対して、リピート機能を働かせるかを指定します。
	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕｰﾃｨﾘﾃｨ の組み込み	ディスクに関するユーティリティを組み込むかを指定します。
	HDUTY	ハードディスク間のデータ転送や、ハードディスクの検査を行うコマンドです。ハードディスクを使用しない場合や、ハードディスク間のデータ転送を行わない場合には、必要ありません。
	MTUTY	ストリーマとハードディスク間のデータ転送を行うコマンドです。ストリーマの装置を装着していない場合には、必要ありません。
	CLNDSK	フロッピィディスクドライブの清掃（クリーニング）を行うコマンドです。
	MOLOCK	光磁気ディスクのEJECTボタンをロックまたはアンロックするコマンドです。光磁気ディスクを装着していない場合には、必要ありません。

	メッセージ	設 定 内 容
オプション	解像度	16ドット表示カードを装着しているコンピュータをお使いの場合、またはFM R-70Σをお使いの場合には、２種類の画面解像度（高解像度／中解像度）が選択できます。
	EMSデバイスドライバ	拡張メモリ（EMS）を使用する場合、EMM386.EXE、EMM.SYS、EMM32.SYSのいずれを組み込むかを指定します。 CPUが80286以下の場合、EMM386.EXEは指定できません。FM R-70HX1/2/2S/3、FM R-70HDをお使いの場合はEMM386.EXEが自動的に組み込まれます。

インストールを開始する

では、MS-DOSのインストールを始めましょう。

1 **セットアップで各種の設定が終わると、次の画面が表示されます。**

```
日本語 MS-DOS(R) V5.0

インストールの開始

オプションの設定が終了しました.
インストールを開始してよければ 'Y' キーを押してください.
それ以外のキーを押すと既定値の設定にもどります.

PF3=終了
```

2 [Y] キーを押す

[Y] キーを押すと、インストールを開始します。

画面の指示に従って操作を進めてください。

3 インストールを終了する

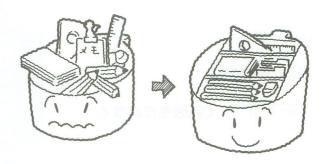
インストールが終了したら、ドライブAからフロッピィディスクを取り出して、大切に保管してください。

これでMS-DOSのインストールが終わりました。これより後は組み込み先であるディスクよりシステムが起動されます。

区画を作成する

３章では、MS-DOSをインストールするために、ハードディスクの区画を設定する手順を説明します。 ハードディスクにMS-DOS用の区画が設定されていないときは、この章を読んで区画を設定してください。

3-1 区画とは･･･

ハードディスクを使用するときは、全体をいくつかの部分に分けて使います。この各部分を区画といい、区画を作成したり、削除することを“区画を設定する”といいます。

3-2 区画の作成方法

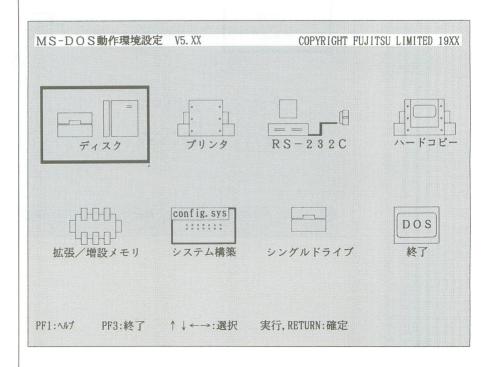
MS-DOSでは、環境を設定するSETUP2コマンドを用意しています。このコマンドでハードディスクの区画を作成することができます。
ハードディスクの区画を作成したら、SETUPコマンドでMS-DOSをインストールします。
SETUPコマンドの詳しい使いかたについては、2章を参照してください。

3-3 「ＳＥＴＵＰ２」で区画を作成する

動作環境設定画面を起動する

SETUP2コマンドの画面を表示させましょう。

1 SETUP2を起動する

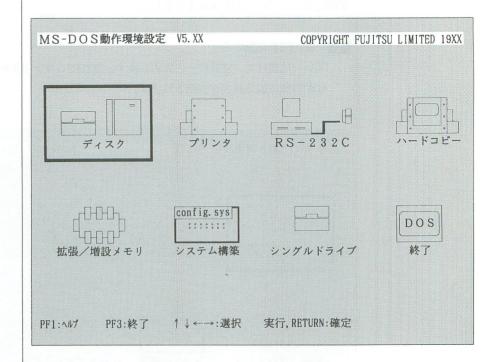
「A>」に続けて「SETUP2」と入力します。SETUP2コマンドが起動され、次のような動作環境設定画面が表示されます。

画面の指示に従って操作を進めていきます。

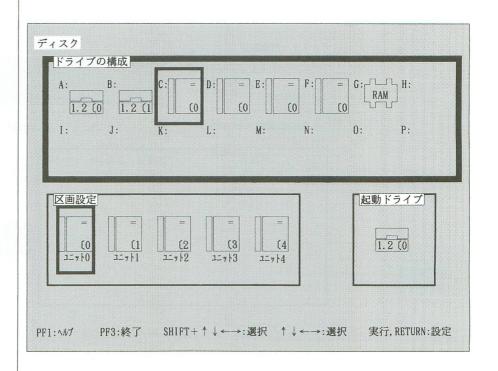
設定を確定するときと、次のページに移るときは ⏎ キーを押します。
ヘルプを見たいときは PF1 キーを押します。
終了したいときは PF3 キーを押します。

内蔵ハードディスク（ユニット０）を指定する

ここでは、内蔵のハードディスク（ユニット０）に区画を作成します。

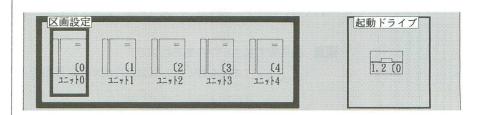
1　「ディスク」を選択する

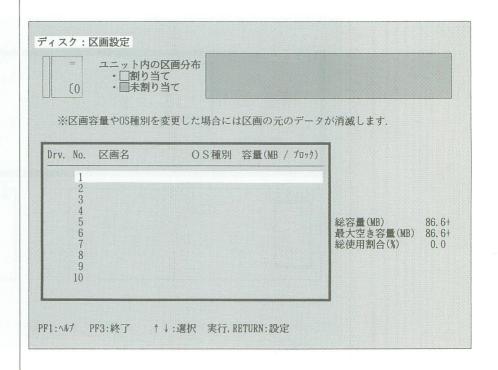
カーソル枠が「ディスク」にあっていることを確認します。カーソル枠は [↑] [↓] [→] [←] キーで移動します。

2 [⏎] キーを押す

[⏎] キーを押すと、ドライブ構成と区画設定の画面が表示されます。

3 [SHIFT] + [↓] キーを押す

[SHIFT] キーを押しながら [↓] キーを押すと、カーソル枠が移動し、「区画設定」の枠が黄色に変わります。

4 「ユニット0」を選択する

[→] [←] キーを押して、カーソル枠を「ユニット0」にあわせます。

5 [⏎] キーを押す

[⏎] キーを押すと、区画設定の画面が表示されます。

参考

ユニット0が光磁気ディスクユニットの場合は、「ユニット0」を選択すると区画設定とボリューム情報設定の選択メニューとなります。
このとき、区画設定を選択してください。

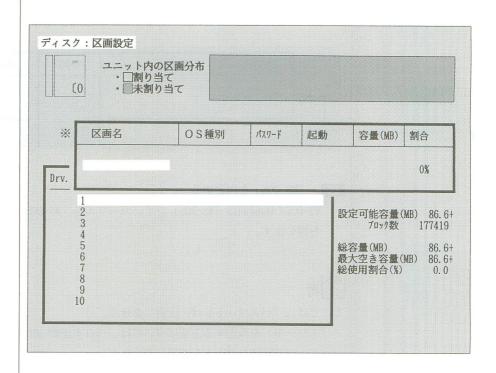
区画を作成する

それでは、区画名、OS種別、パスワード、起動／非起動、容量を設定しましょう。

1 区画番号にカーソルをあわせる

[↑] [↓] キーを押して、区画を作成する区画番号にカーソルをあわせます。

2 ⏎ キーを押す

⏎ キーを押すと、次の画面が表示されます。

3 「区画名」を選択する

カーソルが「区画名」にあっていることを確認して、⏎ キーを押すと「区画名」を入力する画面になります。

4 「区画名」を入力する

ここでは、区画名に「MSDOSSYSTEM」という名前を付けることにします。
表示される枠に「MSDOSSYSTEM」と入力し、⏎ キーを押します。

5 「OS種別」を選択する

カーソルが「OS種別」にあっていることを確認して、 [⏎] キーを押します。

「OS種別」を指定する画面になります。

6 「MS-DOS」を指定する

MS-DOSのOS種別は「MS-DOS」です。カーソルを「MS-DOS」にあわせ、 [⏎] キーを押します。

参考

ここでは、「パスワード」は、設定しません。

「パスワード」を設定する方法については、『日本語MS-DOS®V5.0ユーザーズリファレンス』のSETUP2コマンドを参照してください。

7 「起動」を選択する

[←] [→] キーを押して、カーソルを「起動」にあわせます。

[⏎] キーを押すと、「起動／非起動」を指定する画面になります。

8 「起動／非起動」を指定する

コンピュータの電源を入れたとき、MS-DOSを起動させる場合は「起動」を指定します。

他の区画から違うOSを起動させる場合は、「非起動」を指定します。

9 「容量」を選択する

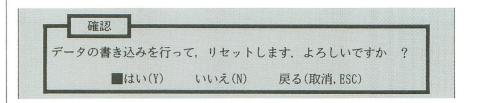
カーソルが「容量」にあっていることを確認して、 [↵] キーを押します。
「容量」を指定する画面になります。

MS-DOSをインストールするためには5MB以上の容量が必要です。
容量設定項目には、5MB以上を設定してください。

10 「容量」を指定する

[→] キーを押して容量を「5.0」以上に設定し、 [↵] キーを押します。

11 区画の設定を終了する

設定内容を確認し、4回 [PF3] キーを押して次の画面を表示させます。

このままデータの書き込みを行いたいときは [Y] キーを押します。
データの書き込みを行いたくないときは [N] キーを押します。

これで、ハードディスクの区画設定という作業は終わりです。
この後にSETUPコマンドで、インストールしてください。
SETUPコマンドの操作方法については、2章を参照してください。

FM Rシリーズ，FM NoteBook，FM TOWNS
日本語MS-DOS®V5.0 セットアップガイド
80SP-0101-3-0

発 行 日　1992年11月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

㋐9307-11